

学校教育目標	「よりよい自分 よりよい仲間」 (知)自分の思いをもち、自分の力で積極的に学び続ける子を育てます。 (徳)規範意識をもち、自分も相手も大切にし、自信と思いやりのあふれる子を育てます。 (体)生命を尊ぶ気持ちをもち、自らの健やかな体をつくる子を育てます。 (公)学校や地域に親しみ、まちの一員として積極的にかかわる子を育てます。 (開)様々な人とのコミュニケーションを通じて、広い視野をもち、世界とつながろうとする子を育てます。				
	学校概要	創立 30 周年	学校長 副島江理子	副校長 山下謙一郎	2 学期制
児童生徒数: 374 人		主な関係校: 緑園西小学校 岡津小学校 岡津中学校 名瀬中学校 上矢部小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主眼的に自分の思いを表現していく力(岡津中ブロック) 「健全な自尊感情の向上」 ・自己教育力 ・人間関係力	岡津中ブロック 岡津中学校 岡津小学校 緑園西小学校 上矢部小学校	主眼的に自分の思いを表現していく子ども 主眼的な表現力を育成するための合同授業研究会の推進 及び 体験活動を通じた児童生徒交流の推進 各教科の学習の充実 人権教育 小中一貫教育

中期取組目標	(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校をつくります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくります。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①個々の思いを大切に学習課題の設定、学習プロセスを明確にした学習を通して読解力を高める。②グループ学習や子どもによる授業進行等を通して、主体的・協働的な学習を追究する。③ICT活用、プログラミング学習を進める。④子どもの思いをもとに「横浜の時間」を創造する。⑤どの学力層にも応じた指導の手立てを講じていく。
担当 B部会	
豊かな心	①子どもたちの課題に即し、行事や各教科とも連携した道徳授業に取り組む。②「けがOプロジェクト」「なかよし活動」を核にした委員会活動・異学年交流等、子ども主体の生活づくりを進め、互いを思いやる気持ちを育む。③地域や社会と関わる機会を増やし体験を通して多様な人々への共感を育む。
担当 A部会	
健やかな体	①体力向上をめざし、児童自身の問題意識を生かした委員会主催の体力向上に取り組む。②体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携し、学校の取組を自分の生活態度・生活習慣の形成に生かせるようにする。③学校生活全般を通して「食育」への意識を高める。
担当 体育部	
特別支援教育	①きめ細かく個々の状況を捉え、保護者の理解を促し、専門機関やカウンセラーとの綿密な連携を図る。②個別支援学級に対する理解を促し、活躍の場を増やす。③自信をもって活動できるように「個に応じた支援」体制を強化し、どの子にとってもわかりやすい学習、互いに尊重し合える学校づくりをさらにめざしていく。
担当 A部会	
社会に開かれた教育課程	①子どもたちが自覚をもって地域と積極的にかかわるよう「ガッツ緑園」(地域でもがんばる)というスローガンを意識化し「地域参画力」を高める。②教科等学習との関連を図り、地域との連携による単元開発を進める。③専門機関や企業等と連携し、社会とのつながりや本物との出会いを大切に、職業に対する興味をもち将来に向けての視野を広げるようにする。④SDGsに対する理解を進める。
担当 各学年	
カリキュラム・マネジメント	①学校図書館を軸としたカリキュラムマネジメント(外国語、ICTとの有機的な融合)に取り組む。②学状調査等のエビデンスをもとに具体的手立てを講じる。③児童によるPDCAサイクル(KWL)を強化する。④授業発表を核とした授業改善PDCAIに取り組む。⑤緑園義務教育学校に向けたカリキュラムマネジメントに取り組む。
担当 B部会、教務部	
地域連携と学校運営協議会	①学校運営協議会を軸として緑園西小とともに義務教育学校開設に向けての学校づくりを行う。②キッズクラブとのさらなる連携を図り、地域や緑園西小の子どもたちとのかかわりを増やす。③緑園活性化委員会等、地域の組織と連携して子どもたちの地域参画体制を整えていく。(PTAも含めて)
担当 教務部	
研修・研究	①毎時間の授業改善という共通理解のもと、基礎・基本の向上を図り、日常的に授業を見合い、アドバイスし合うようにする。②「卒業研究」「緑園名瀬模擬選挙」等、最高学年の取組を参観し、全員で「めざす姿」を共有する。③さらなる向上を心がけ、チームで楽しく研鑽を積んでいく。④西小との合同研修の場を設定する。
担当 メンター部・全員	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①研究会参加や他校に向けた公開授業研究会開催等、積極的に授業改善に取り組む。②少ない教職員組織での創造的・効率的な学校運営の工夫を図る。③校内OJTを進める。(個々が自分の役割において質の向上と効率化を目指した工夫を図る。)④チームで対応という自覚をもって学年内・ブロック・級外と連携を図る。
担当 教務部他全員	
いじめへの対応	①「いじめ防止基本方針」に則り、意識を高めて未然防止に取り組む。②アンケート、ypシート等を効果的に活用し実態把握に努める。③「けがOプロジェクト」のもと、学校保健委員会を中心に「相手の気持ちを尊重する」取組を継続する。④日常的に一人ひとりのよさを認め、自尊感情を高めるようにする。④情報を共有し、保護者・児童がだれにでも相談できる体制づくりをする。
担当 A部会	